

医学教育分野別評価
琉球大学医学部医学科
年次報告書
2019 年度

評価受審年度 2017 (平成29) 年

令和元年 8 月

琉球大学医学部



**医学教育分野別評価 琉球大学医学部医学科 年次報告書
令和元年度**

評価受審年度 2017（平成29）年

今後改善が見込まれる項目

1. 使命	1.2 大学の自立性および学部の自由度
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
・ 導入が計画されている「沖縄特色科目」の確実な履行が期待される。	
現在の状況	
・ 教務委員会にて沖縄特色科目のありかたについて議論している	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	
・ 資料1.2.1 令和元年度第3回教務委員会議事要旨	

今後改善が見込まれる項目

1. 使命	1.3 学修成果
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
・ 学修成果を教員、学生に十分に周知すべきである。	
現在の状況	
学生に関与するすべての委員会で教員への周知をはかり、教員への周知を働きかけている。	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

1. 使命	1.3 学修成果
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
・ 卒前と卒後の学修成果の関連をより明確にすることが望まれる。	
現在の状況	
・ 卒前・卒後の学修成果の関連性をつける方法を医学科教務委員会、企画室とキャリア支援センターで話し合っている。	
今後の計画	
・ 一定の関連性を示す事項を固めていく方針である。	
現在の状況を示す根拠資料	
・ 個別に照会をかけているので、資料としてはない。	

今後改善が見込まれる項目

1. 使命	1.4 使命と成果策定への参画
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
・ 卒業時コンピテンスの策定には、学生、職員など、教育に関わる主要な構成者が参画すべきである。	
現在の状況	
・ 教育委員会のカリキュラム作成専門部会、医学教育評価委員会、医学教育分野別評価対策委員会に学生が参画する規定を作成し、参加させている。	
今後の計画	
・ 策定・改訂の方針を決定し、そのメンバーに学生を含む広い教育関係者の意見を聞き入れる方法を採用する。	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1.4.1 令和元年度第1回カリキュラム作成専門部会議事要旨 ・ 資料1.4.2 琉球大学医学部医学科医学教育評価委員会要項 ・ 資料1.4.3 琉球大学医学部医学科医学教育分野別評価対策委員会規程 	

今後改善が見込まれる項目

1. 使命	1.4 使命と成果策定への参画
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
・ 今後使命を改定する際には、他の医療職、患者代表者など、広い範囲の教育関係者の意見を聴取することが望まれる。	
現在の状況	
・	
今後の計画	
・ 人選を含め、医学教育分野別評価対策委員会にて検討する。	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.1 プログラムの構成
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
・ 卒業時コンピテンス、コンピテンシーを各科目の教育に十分に反映させるべきである。	
現在の状況	
<p>・ コンピテンスのカリキュラムへの落とし込みは現在検討中である。</p> <p>縦カラムに教科名、横カラムにコンピテンス、コンピテンシーを作り、漏れがないかを確認した。</p> <p>現在、以下の改善を行っている。</p> <p>① コンピテンシーのレベルまで下げて、すべてが盛り込まれているか確認する。</p> <p>② 学年ごとに達成できるコンピテンスを整理し、学年ごとの達成度を協議している。</p>	
今後の計画	
・ 臨床技能について、身に付けるべき技能を列挙する。	
現在の状況を示す根拠資料	
資料2.1.1 平成30年度第2回医学教育分野別評価対策委員会 議事要旨	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.2 科学的方法
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
・ 臨床で活用するための体系的な EBM 教育の強化を図るべきである。	
現在の状況	
・ EBM に関しては、基礎系、臨床系で個別に行われている。	
今後の計画	
・ 現在教務委員会などで体系化を検討する方向で進んでいる。	
現在の状況を示す根拠資料	
・ 資料2.2.1 令和元年度第1回医学教育分野別評価対策委員会 議事要旨	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.4 行動科学と社会医学・医療倫理学と医療法学
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
・ 行動科学の体系的なカリキュラムを整備すべきである。	
現在の状況	
・ 行動科学のカリキュラムを構築し、M1～M3 にわたってカリキュラムを開始した。	
今後の計画	
・ アンケートを実施して、1年目の行動科学の結果を検証する。	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料2.4.1 平成31年度行動科学シラバス ・ 資料2.2.1 令和元年度第1回医学教育分野別評価対策委員会 議事要旨 	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.4 行動科学と社会医学・医療倫理学と医療法学
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在および将来的に社会や医療システムにおいて必要になると予測されることを定義し、行動科学、社会医学、医療倫理学、医療法学のカリキュラムを検討することが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医学教育分野別評価対策委員会で検討している。 	
今後の計画	
今後、教務委員会で予測項目を検討する。	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料2.2.1 令和元年度第1回医学教育分野別評価対策委員会 議事要旨 	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.5 臨床医学と技能
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ すべての学生が、健康増進と予防医学を実際に体験できるようにすべきである。 	
現在の状況	
プログラムを検討中である。	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.6 プログラムの構造、構成と教育期間
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
・ 垂直的統合科目を開講する上での問題点を議論して、垂直的統合科目を拡充することが望まれる。	
現在の状況	
・ 拡充に向けて検討に入っている。 ・ 本来の意味での統合が行われているか、アンケートを中心に解析をしている。	
今後の計画	
・ 医学教育評価委員会などで検討し、改善項目を検討する。	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.7 プログラム管理
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
・ 教育カリキュラムの立案と実施に責任と権限を持つ委員会の構成委員として、学生の代表を含めるべきである。	
現在の状況	
・ 現状は、学生の意見、成績、外部の医学教育の流れを中心に、必要に応じて教務委員会、カリキュラム専門部会、企画室ミーティングで話し合い改訂されている。 ・ 今後の道筋はプログラム評価と合わせて現在検討中である。 ・ カリキュラムを組織する委員会にメンバーとして加えてある。(規定も整備している) ・ ただし、進級判定、個人情報に関与する教務委員会ではなく、カリキュラム専門部会である。この委員会は評価基準におけるカリキュラムに相当するものである。	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	
・ 資料1. 4. 1 令和元年度第1回カリキュラム作成専門部会議事要旨	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.7 プログラム管理
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
・ 教育カリキュラムの立案と実施に責任と権限を持つ委員会に、教員と学生以外の教育の関係者の代表を含むことが望まれる。	
現在の状況	
・ 教育の関係者の代表を入れることは決定しているが、その人選を急いでいる。	
今後の計画	
・ 医学教育分野別評価対策委員会、教務委員会で話し合いを行う。	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

3. 学生の評価	3.1 評価方法
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識、技能、態度の領域に合致した評価を学修段階に応じて系統的に実施すべきである。 ・ 臨床実習現場においてさまざまな評価を確実に実施すべきである。 ・ 学生の成長に関する記録を蓄積して、形成的評価に活用すべきである。 ・ 疑義申し立てについて、医学部として組織的な対応の仕組みを構築すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 技能に関しては、卒業までに達成すべき技術項目の洗い出しを行っている。 卒業までに、すべてを達成していることを卒業条件とする方向で調整している。 ・ 態度の評価は基礎・臨床・社会科学すべての科目で行う。 学生カルテに記載する方向で調整している。 態度評価の活用法は、慎重に議論を進めている。 臨床実習においては態度を1つの指標にしている。 今後、全体像を掌握する方法を検討している。 ・ 学生の成長の記録は、学生カルテという形で個人別に行う方向で調整している。 科目ごと、学年ごとにフィードバックをして成長を促す。 ・ 疑義申し立て制度の基準を医学科として明確にし、シラバスに明記する予定である。 ・ 臨床実習における様々な評価法はこれから検討する。 	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

3. 学生の評価	3.1 評価方法
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価の信頼性と妥当性を検証することが望まれる。 ・ 基礎医学での各科目の評価方法、合格基準を統括的に検証、評価し、改善する仕組みを構築することが望まれる。 ・ 外部評価者を活用することが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 信頼性について検討している。 ・ シラバスの相互検証を行っており、その中で評価法の妥当性は検討している。 ・ 試験問題、正解の公表を進める。統合科目の教員間での情報共有を進めている。 ・ 学生成績（分布、平均、最低、最高など）の教員間での情報共有を進めている。 ・ それらの妥当性に関する分析は始まっていない。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価の信頼性、妥当性はこれから検討する。 ・ 学年ごとの総括評価（基礎医学）の方法はこれから検討する。 ・ 外部評価委員の導入はこれから検討する。 	
現在の状況を示す根拠資料	
資料3.1.1 平成30年度第6回教務委員会議事要旨 資料3.1.2 平成30年度第8回教務委員会議事要旨 資料3.1.3 平成30年度第9回教務委員会議事要旨	

今後改善が見込まれる項目

3. 学生の評価	3.2 評価と学習との関連
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピテンシーの各項目に関連づけて科目での到達レベルを設定し、目的とする。学修成果の達成を保障する評価について検討し実践すべきである。 ・ 評価のフィードバックを確実にを行い、学生の学修を促進すべきである。 ・ 低学年から臨床実習に至る過程において、学生の成長に関する記録を蓄積して、形成的評価に活用すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床実習においてはフィードバックの機会をできるだけ設けるように各科に指導している。 ・ 学生カルテを作成し、その実施に向けて準備を進めている。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎科目においては形成的評価を行い、フィードバックを行う科目を増やす。 ・ 学生カルテにおいて、現在の到達度、また、各科からのフィードバックを Web 上で確認できるシステムを構築する。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 	

今後改善が見込まれる項目

3. 学生の評価	3.2 評価と学習との関連
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
・ 形成的評価を繰り返し行い、具体的、建設的、そして公正なフィードバックを行うことが望まれる。	
現在の状況	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

4. 学生	4.3 学生のカウンセリングと支援
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
・ カリキュラムとして、中高学年でのキャリアガイダンス教育の導入が望まれる。	
現在の状況	
・ カリキュラム作成専門部会ならびに教務委員会で話し合っている。	
今後の計画	
・ 導入する方向で進める。	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

4. 学生	4.4 学生の参加
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、教育プログラムの策定、管理および学生に関する諸事項に関わる各種委員会に学生の参画を推進すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使命、カリキュラムなどの改訂の方法に関しては現在検討中である。 ・ これらに関与する委員会すべてに学生が正規の委員として参画している。 	
今後の計画	
<p> </p>	
現在の状況を示す根拠資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1.4.1 令和元年度第1回カリキュラム作成専門部会議事要旨 ・ 資料1.4.2 琉球大学医学部医学科医学教育評価委員会要項 ・ 資料1.4.3 琉球大学医学部医学科医学教育分野別評価対策委員会規程 	

今後改善が見込まれる項目

5. 教員	5.2 教員の活動と能力開発
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員がカリキュラムの全体像を十分に理解するための適切なシステムを確立すべきである。 ・ カリキュラムの実施を確実に進めるよう、教員それぞれのエフォート率を組織的に管理すべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 初任者研修において、カリキュラムの全体像をしめす FD を始めることで決定している。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、実施する予定である。 	
現在の状況を示す根拠資料	
<p> </p>	

今後改善が見込まれる項目

6. 教育資源	6.1 施設・設備
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
・ 学習環境を定期的・組織的に見直す体制を構築することが望まれる。	
現在の状況	
・ 学修環境を定期的に見直す組織的な体制を考えているところである。	
今後の計画	
・ アンケートなどを集約するシステムの構築を、医学教育評価委員会に置いて検討している。	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

6. 教育資源	6.5 教育専門家
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
・ 学内外の教育専門家を活用し、すべての教職員の教育能力向上をさらに図ることが望まれる。	
現在の状況	
教員の教育能力向上のための方策を検討中である。	
今後の計画	
教務委員会主導でFDの開催を検討する。	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.1 プログラムのモニタと評価
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医学教育評価委員会は、カリキュラムとその主な構成要素、学生の進歩、課題の特定と対応についての評価を早急に遂行すべきである。 ・ 医学科の教学 IR 機能を実働させ、評価システムの充実化を図るべきである。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ モニタすべき内容を検討中である。 ・ モニタの仕組み、解析の仕組みを検討中である。 	
今後の計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学の IR 推進室と連携し、卒業生の情報の入手、学生アンケートなどの項目の検討を協議する。 ・ コンピテンスとの整合性、その評価と合わせて、PDCA サイクルを検討する。 	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.1 プログラムのモニタと評価
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期間で獲得される学修成果、社会的責任について、プログラムを包括的に評価することが望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 包括的に評価する仕組みについて、医学教育評価委員会、医学教育分野別評価対策委員会で検討に入っている。 	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.2 教員と学生からのフィードバック
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
・ 系統的に教育プログラム評価のための学生・教員からフィードバックを収集し、分析・対応すべきである。	
現在の状況	
7. 1と同様の状態である。	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.2 教員と学生からのフィードバック
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
・ 教育プログラム評価のための教員や学生からのフィードバックをプログラム開発に活用する仕組みを構築することが望まれる。	
現在の状況	
7. 1と同様の状態である。	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.3 学生と卒業生の実績
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
・ 使命、学修成果、カリキュラム、および教育資源の観点から、学生と卒業生の実績に関するデータを収集し、分析すべきである。	
現在の状況	
7. 1と同様の状態である。	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.3 学生と卒業生の実績
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
・ 学生の実績に関するデータを収集し、その結果を学生の選抜、カリキュラム立案、学生カウンセリングについて、入試委員会、教育委員会等へフィードバックを確実に提供することが期待される。	
現在の状況	
7. 1と同様の状態である。	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

7. プログラム評価	7.4 教育の関係者の関与
質的向上のための水準 判定：部分的適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医学教育評価委員会が具体的に活動を行い、教育課程およびプログラムの評価結果を公開することが望まれる。 ・ カリキュラムに対して他の関連する教育の関係者からフィードバックを求めることが望まれる。 	
現在の状況	
7. 1と同様の状態である。	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	

今後改善が見込まれる項目

8. 統轄及び管理運営	8.1 統轄
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 統轄業務とその決定事項について、プロセスも含めた情報公開の一層の推進が望まれる。 	
現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医学教育改善にかかわる意思決定プロセスは以下の方法で情報公開ならびに教員・事務員全体に周知する方法を検討している。 ・ 教授会、医学部ホームページなど 	
今後の計画	
現在の状況を示す根拠資料	